

特定非営利活動法人 ちば山 千産千消ちばの杉ちば山の家

平成25年度 地域型住宅ブランド化事業 採択グループ



複数の保育所を建設



外構植栽も特徴的



ちば山杉やヒノキを自然乾燥しているストックヤード



ツリーハウス

千葉の里山を守るため 千葉の森を復活させるため

前身は平成9年に
結成した有志団体

「そこそこ山はあるのに、都会に近いばかりに、千葉は森林原ではないところがあって間伐をしない山、荒れている山がたくさんあります」

「特定非営利活動法人 ちば山」の事務局を務める中村真也理事（ちば山真童舎一級建築士事務所代表は、千葉県の森林の状況をこう説明する。

こうした状況を少しでも改善しようと、平成9年に中村理事を含む4人で「ちば山」の前身となる森林作業ボランティア「山武・杉の木ネット」を結成。千葉の里山を守るため、携しながら、年10棟ほ

千葉の森を復活させるための活動を開始した。「草刈りとか、間伐のお手伝いをしようというところで、休みの日に活動していました」

会の中に工務店と設計事務所がいたことから「どうせなら家づくりにつなげよう」と、いまは当たり前のように行われている森林見学ツアーを企画。千葉県内の森林や製材所、製材の普及・促進に努める一方で、全国の大手メーカーなどの見学会を行っている。

「当時は千葉の木認証制度」ができる前でも、間伐は千葉の木オンリーでやっていたと中村理事が話すように、県産材の利用促進を図り、千葉県林務課とも連携しながら、年10棟ほ

グループホームや
保育所も建設した

12年には「ちば山」に改称。16年には特定非営利活動法人となった。林野庁や千葉県、環境財団などの助成を受けてイベントやパンフレットなどを作成。県産材の普及・促進に努める一方で、全国の大学や協議会、団体などの視察の受け入れやセミナー講師派遣などの活動も並行して行ってきた。

メンバーには工務店、設計事務所以外に、林業家、製材所、造園業者なども入ってくるようになった。著名な造園家・高田宏臣氏の自宅

も「ちば山」が手掛けた。外構植栽のアドバイスを受けることもあるという。

また「ちば山」では、「スギの木の板倉づくりに対して『それはいいかんね』と『千葉の木でやって、それで何年もちょうど』というふうなグループホームも建設。複数の保育所も建てている。こうした公共建築物の話は、中村理事が過去に手掛けた施主の紹介によるものだ。

「以前、千葉の木で家を建てた方が、筑波大学の先生で、その方の紹介です。（地元の木を使うことが）好きな人のつながりができてきますよね」

「ちば山」の顧客には、大学や学校の先生が多いという。「教養の高い方々（から）支持を得ていることは確かです。（会の活動に）共感していただけていると、無農薬農業を望む参加者に千葉の木を紹介

中村理事はひとつのエピソードを笑顔で話してくれた。「筑波の先生は、デッキに腐り、いくい南洋材を使うことにして、『それはいいかんね』と『千葉の木でやって、それで何年もちょうど』というふうなグループホームも建設。複数の保育所も建てている。こうした公共建築物の話は、中村理事が過去に手掛けた施主の紹介によるものだ。

その後、デッキは千葉県産材で、という流れが一気に出来上がったという。

千葉に移住するから 千葉の木で建たい

「ちば山」は、地域の複数の生産者農家が農産物を持ち寄り、消費者に直接販売するファーマーマーケットにも参画。「ちば山」はツリーハウスをつくるなど、田舎暮らしや無農薬農業を望む参加者に千葉の木を紹介

グループ概要
グループ名：特定非営利活動法人 ちば山
地域型住宅：千産千消ちばの杉 ちば山の家
供給対象地域：千葉県全域
代表者：柏原博文
（特定非営利活動法人 ちば山・千葉県緑区）
事務局：ちば山 真童舎 一級建築士事務所
（千葉県緑区）
結成年月：平成12年9月
採択戸数：8戸（追加分含む）
採択実績：2回目

グループ構成員
原木供給：2、製材・集成材製造・合板製造：2、フレカット：2、設計：4、施工：10、これら以外の業種：2

「せつかく千葉に移住するなら、千葉の木で家を建たい」という要望もあり、都会からの移住者から、注文を受けたこともあった。「庭に畑があって、エネルギーも自給自足できる」ということで、お客さんが続きました」

「ちば山」は、平成24年度に3戸の採択を受けた。25年度も6戸追加の計8戸すべてを交付申請した。長期未経験の工務店による施工も行われている。

「26年度も地味な数字ですが、6戸で申請しました」と話す中村理事は、地域型住宅千産千消ちばの杉 ちば山の家をより普及させるために、若手の設計者の育成に力を入れていくという。

長期を設計しています。が、なかなかやりたがらない工務店、設計事務所もいます。要件が長期でしたので、国にめちゃくちゃ考えている人がいるんだと

「ちば山」は平成24年度に3戸の採択を受けた。25年度も6戸追加の計8戸すべてを交付申請した。長期未経験の工務店による施工も行われている。

「26年度も地味な数字ですが、6戸で申請しました」と話す中村理事は、地域型住宅千産千消ちばの杉 ちば山の家をより普及させるために、若手の設計者の育成に力を入れていくという。